

款	2 総務費	項	11 地域活性化交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 きめ細かな交付金事業費(繰越明許)	127,291千円	99,581千円
担当課決算額				14,500千円	14,062千円

○きめ細かな交付金事業 13,246千円  
 ・花見瀉墓地案内看板及び琴ノ浦歴史街道記念碑を設置しました。

【修繕料】

- ・花見瀉墓地案内看板修繕工事 396千円
- ・琴ノ浦歴史街道記念碑制作料 420千円

・以西公民館の改修を行いました。

【委託料】

- ・以西公民館屋根・外壁改修工事設計・監理委託業務 976千円

【工事請負費】

- ・以西公民館屋根・外壁改修工事 12,270千円

「成果」 社会教育施設の利便性向上及び施設の維持機能向上が図られました。

「課題」 施設の老朽化に伴い維持管理費の確保が難しくなっています。

款	2 総務費	項	11 地域活性化交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 住民生活に光をそそぐ交付金事業費(繰越明許)	44,821千円	36,654千円
担当課決算額				37,380千円	32,405千円

○図書館・学校・保育園の書籍等整備事業 15,000千円

・図書館、小・中学校、保育園等において、町民の読書・学習に供するために、図書・視聴覚資料等を購入しました。また、館内を利用しやすくするため、書架等備品を購入しました。

千円

	図書費	備品	消耗品費	合計
本館(AV資料)	6,969 (4238冊)	1,261	372	8,602
赤碓分館	1,000 ( 681冊)	28		1,028
小学校8校	3,199 (1431冊)	162		3,361
中学校2校	1,000 ( 380冊)	111		1,111
保育園8園	787 ( 584冊)			787
児童館2館	111 ( 61冊)			111
合計	13,066 (7375冊)	1,562	372	15,000

「成果」 それぞれの図書館の基礎的基本的資料の整備充実が図られました。

「課題」 図書館における司書の確保が必要。

○斎尾廃寺跡コンピューターグラフィックソフト制作事業 17,409千円

斎尾廃寺跡をコンピューターグラフィックより映像として、視覚的に斎尾廃寺をとらえ、その価値素晴らしさを理解していただくため、歴史民俗資料官に設置して、広く公開するため制作した。



款	6 総務費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	4 勤労者体育センター運営費	2,473千円	2,383千円

担当課決算額 2,473千円 2,383千円

○勤労者体育センター管理運営事業 2,383千円  
 勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

施設利用状況(赤碕) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	629	654	701	805	682	720	698	667	701	665	540	584	8,046

施設利用状況(東伯) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	757	825	798	1,136	771	826	791	786	836	961	911	940	10,338

「成果」 勤労者体育センターの管理運営を行い、利用者の健康増進を図った。  
 「課題」 施設の維持管理費用の適正化を検討。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	55,752千円	55,192千円

担当課決算額 55,752千円 55,192千円

○人件費 45,098千円 一般職 7人

○男女共同参画推進事業 506千円

・男女共同参画審議会 2回 委員15人 43千円  
 男女共同参画プランに基づく関係施策実施状況、町民意識調査への意見聴取を行いました。

・男女共同参画町民意識調査 166千円  
 「第2期琴浦町男女共同参画プラン」策定の基礎資料とするため、町民意識調査を行いました。

・男女共同参画関係啓発活動 57千円  
 男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等の啓発活動を展開しました。

男女共同参画講演会(地区公民館と連携しての講演会)

6月10日	八橋地区公民館会場	参加者 45名
6月15日	上郷地区公民館会場	参加者 25名
6月22日	浦安地区公民館会場	参加者 58名
7月 1日	古布庄地区公民館会場	参加者 27名
7月 8日	下郷地区公民館会場	参加者 41名

男女共同参画講座開催

10月28日	誰も教えてくれないカラダの話	参加者 58名
12月 7日	女と男のコウネンキ	参加者 38名

・琴浦町男女共同参画推進会議 130千円  
 男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。

主な事業

5月11日	琴浦町男女共同参画推進会議総会	参加者16名
9月30日	女性区長との交流会	参加者14名
8月27日	琴浦町男女共同参画フォーラム	参加者100名

・日本女性会議参加 110千円  
 日本女性会議2011松江参加者を町内より公募・参加費助成し、21名が参加、男女共同参画についての認識を深めました。

「成果」 新たな地域・内容の啓発を昨年度より幅広く行う事ができました。

「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○社会教育振興 3,829千円

生涯学習を総合的に推進し、社会教育団体を育成しました。

社会教育委員会 委員10人 10月6日、3月1日

(生涯にわたる社会教育の推進)

負担金：県社会教育協議会負担金  
 県社会教育委員連絡協議会負担金  
 郡社会教育協議会負担金  
 県子ども会連合負担金

補助金：町連合婦人会  
 町青年団補助金  
 PTA連合協議会補助金  
 文化協会補助金  
 青少年健全育成協議会補助金



「成果」 社会教育関係者や、社会教育団体の育成を図ることができました。

「課題」 生涯学習への幅広い参加を進めるためのきっかけとなる仕組みづくりが課題です。

○女性教育推進事業 313千円

女性団体連絡協議会に女性研修事業を委託、女性のつどいを開催し共通の課題について研修を深め、交流の場とするとともにさらなる社会活動参画を推進しました。

女性のつどい 11月3日(木・祝) 参加者 149人

レディーススクールについて、必要課題を中心とした講座を中心とした講座を開催し、従来より低い年齢層の参加を得るように工夫して講座を展開しました。

涼しく過ごそう省エネの知恵 16人  
 パステルアートでセルフケア 12人  
 家も私もスッキリ！きれいが続くカンタン収納整理術 14人  
 「センリユウ」でほっと一息「心に余裕」を！ 7人

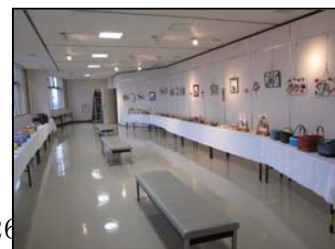
「成果」 レディーススクールについて、より幅広い年齢層での学習活動活性化を図れました。

「課題」 関係団体構成員・講座参加者の平均年齢上昇に伴い、新たな世代の参加推進をより強力に行っていく必要があります。

○生涯学習センター展示事業 49千円

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場として、また創作意欲の向上を図るとともに新規活動者を増やせるよう芸術文化の振興発展を図りました。

- ・ 寿大学園芸同好会(5月14日～15日)
- ・ 琴浦町俳句展(5月21日～29日)
- ・ おし絵グループ作品展(5月21日～29日)
- ・ おしゃべりサロン作品展(6月11日～14日)
- ・ 洋画作品展(6月11日～6月14日)
- ・ 寿大学表具コース作品展(7月22日～26日)
- ・ 竹細工教室・絵手がみサークル合同作品展(7月22日～26日)



「成果」 多くの来場者に向けて芸術に触れる機会を提供できました。

「課題」 新規活動者を増やすため、さらなる出展者数の増加を目指します。

## ○寿大学 76千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくりを図りました。

一般教養コース 年10回

各種専門コース コースにより週1回～月1回

学級生 296人

「成果」 一般教養コース年間計画のなかに、10秒の愛講演会を組み込み、地域で子育てに取り組む機運を高めることができました。

「課題」 多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。

## ○青少年育成啓発事業 859千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。

少年育成員18人、夜間街頭指導:通年25回

琴浦ものづくり道場を開催し、小学生のものづくりに対する関心を高めました。

4回開催(草木染め、ナイフ作り、LEDイルミネーション、米粉ベーグル)

参加者数 78人

10秒の愛シンポジウムを開催し、発達段階に応じた様々な年代の子育てについて考えました。

2月26日カウベルホール、参加者数: 342人

中学生によるジュニアリーダー養成講座を開催し、地域活動への参加を図りました。

年間14回開催 延べ64人参加

子ども会のリーダー・育成者が集い子ども会活動のあり方について研修を行いました。

3月18日(日)まなびタウンとうはく、3月20日(火)赤碕地域コミュニティーセンター

参加者数:子ども 84人、大人 39人

「成果」ものづくり道場を立ちあげ、小学生へ体験事業を提供することができました。

「課題」ものづくり指導者の育成と、道場の定着が課題となります。

## ○生活体験学校実施事業 738千円

放課後・週末に地域の方々の参画を得て子ども達の安心・安全な居場所を作りを行いました。

放課後子ども教室 56回

参加者延べ 1,205人

「成果」地域の大人と子ども達の交流や、体験活動を実施することができました。

「課題」開催地域を増やすことが課題となります。

## ○文化活動事業 967千円

町内芸能団体による芸能発表会を開催し、文化芸術の振興と団体間の交流を図りました。

実施日:12月11日(日)

会 場:カウベルホール

出演者 141人、入場者398人

町の文化振興を目的として開催する文化祭。町民の文化・芸術作品の展示会を開催しました。

実施日: 10月29(土)日 ~ 10月31日(月)

会 場: 東伯総合体育館

来場者: 1,500人

「成果」町内文化芸能団体の出演者数及び入場者数は昨年より増加傾向にあり、一層の活動推進を図ることができました。

「課題」町内の文化芸能団体及び文化団体とも、今後は新たな後継者加入対策を図る必要があります。

## ○子育てネットワーク支援事業88千円

## ○家庭教育支援推進事業164千円

家庭教育講座、乳幼児学級を開催し、子育てについての理解を深めました。

実施回数 11回（家庭教育講座）

参加者人数 延べ 360人（家庭教育講座）

「成果」 10秒の愛の認知度が上がり、家庭教育の重要性を啓発できました。

「課題」 講座に参加していない人達に、家庭教育の大切さをどう伝えていくかが課題です。

## ○まなびタウンとうはくPC教室実施事業 365千円

情報化時代に対応するため、まなびタウンとうはくを会場にしたパソコン使用法基礎講習を開催し、町民のパソコン技術等の向上を図りました。

実施回数 9講座、9回

参加人数 延べ 90人

「成果」 9講座を開催し、パソコン技術の向上を図りました。参加者数も増加しました。

「課題」 新たなニーズを把握した講座開設が必要となります。

## ○昔の遊び大会 130千円

昔ながらの遊びの文化伝承を図るとともに、新しい遊び文化の創造を図りました。

巨大紙相撲大会 8月7日（日）

会場： 東伯総合体育館

参加人数 49人

「成果」 紙ずもう大会を開催することにより、伝統文化の伝承と交流を深めることができました。

「課題」 昨年に比べて参加チームが減少傾向にあるため、新たな伝統文化に関する企画が必要と思われます。

## ○無盡庵管理 552千円

無盡庵の管理を行いました。

「成果」 運営のための利便性の向上を図ることができました。

「課題」 老朽化が著しく、今後は一層の維持管理費が必要と思われます。

## ○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 773千円

スクールガードリーダー 2名

巡回指導 304時間

「成果」 通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。

「課題」 地域との連携による地域の見守りの強化が課題です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	2 公民館費	44,374千円	43,944千円
担当課決算額				44,374千円	43,944千円

○公民館費 43,944千円

地域の特色を生かした生涯学習の推進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の公民館利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	210	3,432	106	2,863	231	2,030	68	969	83	1,937	698	11,231
浦安地区公	57	1,240	315	3,587	166	1,844	33	401	27	408	598	7,480
下郷地区公	17	521	105	2,195	29	301	96	1,144			247	4,161
上郷地区公	3	40			6	67	52	606	159	2,099	220	2,812
古布庄地区公	36	612	82	1,410	59	473	18	213	2	67	197	2,775
赤碕地区公	70	1,307	357	2,985	14	168	74	788	7	756	522	6,004
成美地区公	103	1,100	90	1,840	41	314	40	460	107	2,619	381	6,333
安田地区公	14	291	102	1,706	88	724	56	768	3	24	263	3,513
以西地区公	172	1,764	14	177	57	434	53	638	37	970	333	3,983
	682	10,307	1,171	16,763	691	6,355	490	5,987	425	8,880	3,459	48,292

「成果」 住民の身近な学習拠点として、学習・コミュニティ形成を推進しました。

「課題」 より幅広く事業参加をしていただくため、ニーズ把握と地域課題の掘り起こしが必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	3 文化財保護費	5,718千円	5,622千円
担当課決算額				5,718千円	5,622千円

○町内文化財保護に要した経費 648千円

○町指定等文化財の管理に要した経費 333千円

○河本家住宅離れ等修繕事業補助金 214千円

○無形民俗文化財補助事業 60千円

県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢東盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。

○文化財建造物公開・活用促進事業補助金 626千円

国指定文化財河本家住宅の一般公開を実施する河本家保存会に対し補助を行いました。

一般公開日 5月1日(日)～5月5日(木) 入館者 264人

10月29日(土)～11月3日(木) 入館者 217人

○民俗資料館管理

- ・臨時職員賃金 1,766千円  
歴史民俗資料館の展示、企画(企画展)、説明等  
「見て!さわって!昔の暮らし展」 9月22日から9月29日 136名  
琴浦の古地図展」 1月26日から1月29日 139名
- ・民俗資料の移転等 1,937千円
- ・その他管理



「成果」 河本家一般公開や歴史民俗資料館企画展などを通じて、文化財の理解が深まりました  
「課題」 文化財や事業のPRが不足気味で、今後の課題です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費	4,959千円	4,763千円
担当課決算額				4,959千円	4,763千円

○町内遺跡発掘調査事業 2,763千円

県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業及び民間の養鶏団地建設並びに船上山休憩舎改修事業に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため試掘調査を実施しました。

- 県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業 1件 (八橋第10遺跡)
- 船上山休憩舎改修事業 1件 (国史跡船上山行宮跡)
- 民間の養鶏団地建設事業 1件 (八橋帽子取遺跡)

○県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査事業

(八橋第10遺跡) 2,000千円  
(事業者負担分 1,700千円 農家負担分 300千円)  
堅穴住居跡を中心とした集落跡など。(堅穴住居跡、土坑、落とし穴状遺構、礎石建物跡など)

「成果」 ・試掘調査は、八橋第10遺跡が堅穴住居跡、溝状遺構、土坑を検出した。  
八橋帽子取遺跡落とし穴状遺構を検出した。船上山行宮跡は、遺構を検出していません。  
・八橋第11遺跡は、堅穴住居跡、落とし穴状遺構など検出、調査して記録保存を行いました。堅穴住居跡を中心とする集落跡がありました。  
「課題」 ・八橋第10遺跡は、今後、事業者と文化財の取扱について協議が必要になります。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	5 生涯学習センター運営費	28,241千円	27,650千円
担当課決算額				28,241千円	27,651千円

○生涯学習センター管理費 27,650 千円

生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。

生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	87	144	143	142	124	130	134	133	108	97	112	116	1,470
延人数	2,102	4,395	5,087	4,467	3,767	3,143	4,387	4,123	2,743	2,094	4,455	2,941	43,704

「成果」 町及び県内の学習拠点として、幅広い研修の場として活用されています。  
「課題」 施設の効果的運用及び維持管理の軽減を検討します。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	6 図書館費	33,684千円	32,663千円
担当課決算額				33,684千円	32,663千円

○人件費 26,316千円  
 一般職 1人 嘱託 2人 臨時 8人 (本館 9人、分館 2人)

○琴浦町図書館図書等購入費 30千円  
 本館(移動図書館車含む) 赤碕分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碕分館	計
図書等購入費	6,999千円	1,000千円	7,999千円
蔵書数	123,975冊	24,163冊	148,138冊
図書等資料貸出	101,146冊	21,664冊	122,810冊

開館日数 本館291日、赤碕分館294日

○琴浦町図書館活動費 6,085千円

○学校図書館推進支援事業 83千円  
 学校図書館が、子どもたちにとって使いやすい読書や学習の場となるよう支援しました。

○移動図書館車巡回  
 移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。  
 呆・幼・小学校 18ヶ所 部落等 38ヶ所  
 「成果」暮らしに役立つ図書館を目指し、新規に各種相談会の開催に取組み、法情報コーナーを表示するなど所蔵資料を目につきやすくし、利用者の利便性を図りました。  
 「課題」子どもの読書推進計画を策定したので、推進に向けて具体的な取組みと、図書館司書の確保が必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	7 カウベルホール運営費	12,692千円	12,598千円
担当課決算額				12,692千円	12,598千円

○カウベルホール運営費 11,846千円  
 カウベルホールの維持管理と運営を行いました。  
 カウベルホール利用状況

	ホール		会議室		和室		計		収入(千円)
4月	7回	2,420人	0回	0人	1回	30人	8回	2,450人	123
5月	5回	757人	4回	74人	0回	0人	9回	831人	174
6月	12回	2,332人	10回	822人	5回	160人	27回	3,314人	202
7月	7回	1,138人	6回	299人	1回	30人	14回	1,467人	194
8月	0回	0人	4回	54人	0回	0人	4回	54人	3
9月	6回	1,650人	6回	159人	3回	55人	15回	1,864人	223
10月	14回	2,828人	4回	74人	2回	60人	20回	2,962人	156
11月	5回	1,210人	8回	179人	5回	120人	18回	1,509人	4
12月	12回	1,710人	7回	86人	4回	50人	23回	1,846人	172
1月	6回	161人	3回	365人	1回	35人	10回	561人	6
2月	3回	910人	2回	18人	3回	40人	8回	968人	1
3月	4回	940人	3回	56人	3回	70人	10回	1,066人	216
合計	81回	16,056人	57回	2,186人	28回	650人	166回	18,892人	1,474



○公共ホール音楽活性化支援事業 750千円  
 子どもたちに音楽との出会いと触れ合いの場を提供し、感性や創造力の育成、また、公共ホール活性化を図ることを目的として、下記内容のとおり実施しました。

- ・公演事業 1回 出演アーティスト:高橋和歌(ヴァイオリン)  
 場所:琴浦町カウベルホール 入場者数:151名
- ・交流事業 4回 出演アーティスト:高橋和歌(ヴァイオリン)  
 場所:東伯小学校(3年生~4年生)参加人数:42名  
 成美小学校(4年生~6年生)参加人数:46名  
 旧中井旅館(一般)参加人数:24名  
 河本家住宅(一般)参加人数:31名

「成果」カウベルホール運営の利便性の向上を図ることができました。  
 また、優れた音楽芸術と触れ合う良好な環境づくりを図ることができました。  
 「課題」今後は、音楽に対する新たな支持層を広げる必要があります。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	1 保健体育総務費	16,955千円	16,840千円
担当課決算額				16,955千円	16,840千円

○人件費 16,323千円  
 一般職 3人

○一般管理 515千円  
 社会体育に関する一般的な管理運営を行ないました。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	2 体育振興費	11,162千円	10,921千円
担当課決算額				11,162千円	10,921千円

○社会体育指導及び推進 2,813千円  
 心身ともに健康で明るい町づくりのため、体育指導委員の研修・活動の推進しました。

- ・体育指導委員(27人)
- ・研修会
 

琴浦町体育指導委員会定例会(琴浦町)	毎月(年12回)
中国地区体育指導委員研修会(益田市)	6月25・26日
全国体育指導委員研究協議会(東京都)	11月10・11日
東伯郡体育指導委員研究大会(三朝町)	1月14・15日
- ・事業
 

体力づくり教室(スポンジテニス、ストレッチ体操、ファミリーバドミントン)	
8月18日~9月22日 毎週木曜日	参加者 6回 73人
町民体力づくりウォーキング(成美地区再発見コース)	
11月3日(木)文化の日	参加者 66人
体力づくりスポレク祭(スポンジテニス・ハウスボール)	
2月19日(日)	参加者 120人

・その他  
 各地区公民館活動協力・町主催イベント協力・各駅伝役員・各種体育指導・小学校親子会  
 「成果」心身ともに健康で明るい町づくりのため、体育指導委員の研修・活動を推進しました。  
 「課題」子供から高齢者まで、幅広くその人に合った生涯スポーツ提供の検討する必要があります。

○郡・県・国民体育大会選手派遣 4,206千円

郡民体育大会、県スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行いました。

- ・郡民体育大会 参加者 1,513人
- ・県スポーツ・レクリエーション祭 参加者 101人
- ・各種全国大会 参加者 21人

「成果」郡民体育大会において、男子総合優勝を果たす事ができました。  
 「課題」小・中学生の大会参加に対して、個人負担の割合が大きくなっています。

○町体育協会育成及び各部奨励 2,464千円

体育協会表彰を行い、体育の功績をたたえスポーツの振興を図った。町・体育協会主催事業の参加者に対し1日保険に加入した。体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月3日	76人
春季フットサル大会	5月29日	45人
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月2日	174人
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月18日	108人
春季野球大会	5月15日	63人
町長杯卓球大会	5月21・21日	485人
6人制バレーボール大会	6月5日	26人
ミックスダブルステニス大会	5月15日	25人
春季ゲートボール大会	5月30日	30人
スポーツ・レクリエーションin琴浦 (ソフトボール)	6月5日	66人
(バドミントン)		42人
(ソフトテニス)		72人
(グラウンドゴルフ)		342人
ナイター野球リーグ戦	5月14日～10月22日	283人
夏季ゴルフ大会	7月18日	56人
駅伝競走大会	9月25日	490人
秋季ゲートボール大会	10月12日	25人
秋季ソフトボール大会	10月30日	85人
キッズサッカーフェスティバル	10月23日	31人
秋季ゴルフ大会	10月30日	71人
秋季野球大会		中止
ミックステニストーナメント	10月23日	20人
総合バドミントン大会	11月20日	85人
銃剣道大会	11月23日	8人
9人制バレーボール大会	12月4日	65人
バスケットボール大会	12月11日～1月29日	191人
武道館鏡開き	1月8日	約100人
スキー&スノーボード教室	1月21日	34人
新春フットサル大会	1月9日	152人
卓球大会	3月4日	168人
小学生相撲教室	4月18日～3月27日(毎週 水曜日)	10人
柔道教室	4月17日～3月26日(毎週 土曜日)	5人
陸上教室	4月9日～3月24日(毎月 第2、4土曜日)	25人
水泳教室	6月10日～7月24日(毎週 月・火・水・金)	41人
ソフトテニス教室	8月20日～10月1日(毎週 土曜日)	25人

「成果」 体育協会表彰を行い、体育の功績をたたえスポーツの振興を図った。町・体育協会主催事業の参加者に対し1日保険に加入した。体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られました。

「課題」 各種大会に於いて、他行事等と重なり参加者の減ったものもあり、開催時期等の検討が必要となっています。

・町スポーツ教室

第15回琴浦町スポーツ教室交流会(アメリカンフットボール) 3月10日(日)

琴浦町出身で現アメリカンフットボール選手の小倉さん等を招き、講演と基礎体力アップ・ストレッチング教室を実施しました。プロ選手と交流することにより、技術力のアップやスポーツに対する姿勢などを学び、これからのスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となりました。

「成果」 プロバレーボール選手と交流することにより、技術力のアップ・バレーボールに対する姿勢などを学び今後のスポーツ少年団活動、また学校生活等大いに役に立つ場となりました。

・駅伝大会参加

中部地区・米子鳥取間駅伝競走大会への練習及び参加補助を行い、参加意識の向上と選手強化を図りました。

第65回中部地区駅伝競走大会 9月23日  
出場:10チーム 成績:2位

第66回米子・鳥取間駅伝競走大会 11月12・13日  
出場:郡市町村部11チーム 成績:郡市町村部 優勝

「成果」 中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優秀な成績が残せました。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。

○町民体力づくり大会 27千円

町内の史跡等を巡り、ウォーキングによる体力づくり大会を計画・実施し、町民の体力向上と親睦を図りました。

町民体力づくりウォーキング(成美地区再発見コース)  
11月3日(木)文化の日 参加者 66人

○スポーツ・レクリエーションの祭典 69千円

スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催することにより、ニュースポーツの紹介、普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

- ・スポーツ・レクリエーションin琴浦 6月5日(日) 参加者 522人  
種目:バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール
- ・体力づくりスポレク祭 2月19日(日) 参加者 120人  
種目:スポンジテニス・ハウスボール

「成果」 子どもから高齢者まで取組みやすいスポーツを選定し、町民体力向上と親睦が図られました。

「課題」 参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○スポーツ少年団育成強化 1,341千円

スポーツ少年団活動を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団名	団員数	活動日
琴浦八橋野球	17人	毎週 水・金・日
浦安野球	18人	毎週 水・金・日
東伯野球	16人	毎週 月・水・金
赤碕・安田野球	14人	毎週 月・水・金
以西成美野球	22人	毎週 水・土
八橋バレーボール	15人	毎週 火・木
浦安バレーボール	12人	毎週 月・水・土
東伯バレーボール	17人	毎週 火・金
古布庄バレーボール	15人	毎週 火・木・土
赤碕バレーボール	20人	毎週 火・木・土
安田バレーボール	7人	毎週 火・金
成美バレーボール	10人	毎週 火・金・土
以西バレーボール	15人	毎週 火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	33人	毎週 月・水
東伯バドミントン	15人	毎週 月・火・木・金
琴浦卓球	56人	毎週 [小学生]木 [中学生]火・木
東伯サッカー	50人	毎週 水・金
成美サッカー	32人	毎週 水・金
東伯剣道	19人	毎週 月・水・金
赤碕剣道	19人	毎週 月・水・金
琴浦空手	21人	毎週 月・水・金
琴浦相撲	9人	毎週 水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 子どもの少子化により、団員数の減少によりチーム統合等が不可欠となっています。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	3 体育施設費	95,578千円	94,764千円
担当課決算額				95,578千円	94,764千円

○社会体育利用施設管理 911千円

町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。

(東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く)

○平岩記念会館管理運営 1,225千円

青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	87	37	111	135	105	87	94	102	78	72	57	103	1,068

○総合公園管理 16,580千円

東伯総合公園の維持管理を行いました。

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2,630	3,260	4,109	3,431	6,505	3,818	3,920	5,167	1,041	1,747	1,973	3,274	40,875

○農業者トレーニングセンター運営 67,359千円

町民のスポーツの普及・振興・健康づくり事業の開催ならびに、施設の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,236	913	1,420	985	701	1,118	931	1,751	1,499	105	1,018	1,357	13,034

※1月はアリーナ電気工事にて使用不可

赤碓総合運動公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,658	2,730	1,604	963	1,008	881	1,747	651	—	—	—	272	11,514

※12月～2月は休園

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。

「課題」 各施設老朽化により、修繕箇所も多くなり施設管理が増加しています。